

令和元年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		防災対策推進事業		会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		危機管理室		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	11	災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める				
	分野別計画		飯田市地域防災計画					
			飯田市水防計画					
	法令・例規等		災害対策基本法、災害救助法					
			水防法、土砂災害防止法					
事業目的		対象	市民の生命と財産					
		意図	自然災害や危機事案による死者ゼロを目指す					

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)		★防災情報発信の要となる防災行政無線の整備、被災者支援システムの構築などが早急に対応すべき課題となっているほか、防災資機材や備蓄品の充実及び維持・更新を計画的に行っていくことが必要となっています。自主防災組織による防災資機材の整備についても、地区防災計画に基づく着実な整備が求められています。住宅の耐震化に関しては、より効果的な補助制度構築が強く求められています。					
★印はISO配慮事項		★各種訓練や講習会を通じて、市民の防災意識の向上を図っていく必要があります。					
1年度取組	取組内容			経費の内容			事業費(千円)
	・ 防災行政無線のデジタル化整備を計画的に進めます。 ・ 被災者生活再建支援システムを導入し、平時には近隣町村と訓練等で活用するほか、災害時には迅速な被害家屋調査の実施とり災証明書の交付を行います。 ・ 防災備蓄資機材の更新等を計画的に進めるとともに、自主防災組織による防災資機材の購入等に対する補助金交付を継続的に実施します。 ・ 住宅の耐震化を進めるため、補助金を継続するほか、柔軟な補助制度構築に向けた関係機関への働きかけを強化します。			防災行政無線デジタル化整備工事			282,148
				被災者生活再建支援システム構築			456
				松川入豪雨災害50年事業（災害伝承絵本制作）			1,540
				防災ハザードマップ作成事業			4,543
				中山間地域における避難のあり方調査業務委託料			990
				災害救援ボランティアコーディネーター養成業務委託料			2,848
				自主防災会育成事業			11,250
				災害対策備蓄事業			3,310
				住宅倒壊防止対策事業			24,255
				その他の経費			6,619
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成29年度実績	平成30年度計画	令和元年度計画	令和2年度
	防災ハザードマップ更新地区		地区	20	20	3	
	防災資機材整備補助金交付地区		地区	35	55	20	
	精密耐震診断実施件数		件	18	20	24	
	耐震改修等実施件数		件		3	22	
	同報系防災行政無線整備子局数		基			88	
1年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項			
	事業費 計		337,959	(国) 社会資本整備総合交付金（1／2） 11,874千円			
	国庫支出金		11,874	(県) 住宅・建築物耐震改修促進事業補助金（1／4） 5,937千円			
	県支出金		7,092	(県) 元気づくり支援金 1,155千円			
	地方債		286,400	(地) 緊急防災・減災（充当率100％） 286,400千円			
	その他		3,000	(そ) コミュニティ助成事業 3,000千円			
1年度予算	一般財源		29,593				

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	9	1	5	10	2	11,250 0	自主防災会育成事業費
2	1	9	1	5	10	6	3,310 0	災害対策備蓄事業費
3	1	9	1	5	10	13	24,255 0	住宅倒壊防止対策事業費
4	1	9	1	5	10	15	299,144 0	防災対策推進事業費
5								
6								
7								